

令和6年10月4日

ウクライナなど紛争下の海外選手の練習環境と国際大会出場を支援 ＜Sport for Tomorrow 令和6年度活動予定のお知らせ＞

スポーツ庁は、あらゆる国々や世代にスポーツの価値を広めることを目的とするスポーツ国際交流・協力事業 Sport for Tomorrow（スポーツ・フォー・トゥモロー）の一環（※）として、昨年度に引き続き、紛争など国内の情勢により自国内で十分な練習環境が確保できない海外アスリート等を日本に招へいし、練習環境の提供や国際大会への出場等を支援します。

（※）予算事業名：令和6年度ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業（国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業）

1. 令和6年度 支援概要 ※10月4日時点の予定であり今後変更・追加となる可能性があります。

■オリンピック競技（委託先：公益財団法人日本オリンピック委員会）

ウクライナ選手団の招へい・支援

No.	競技種目	招へい者		事業内容	選手団滞在日程	実施場所	連携団体
1	サッカー	※人数非公表(U-16代表選手)		大会参加	2024/6/17～6/24	福島県	(公財)日本サッカー協会
2	柔道	約30名(強化選手/カデ・ジュニア・シニア)		合宿	2024/10/14～11/2	東京都 奈良県	(公財)全日本柔道連盟
3	フェンシング (2事業)	事業1	7名(フルーレ種目オリンピック代表候補)	合宿・大会参加	2024/11/25～12/9	東京都 群馬県	(公社)日本フェンシング協会
		事業2	6名(サーブル種目ウクライナ代表)	合宿	2025/2/5～2/13	東京都	
4	新体操	約30名(オリンピック代表候補、シニア、ジュニア)		合宿	2025/1/17～2/14	群馬県	(公財)日本体操協会

※No.1については、すでに終了しております。

＜取材可能事業＞ ※10月4日時点の予定であり今後変更・追加となる可能性があります。

ウクライナ 柔道

日程・場所：10月30日（水）18:00～19:00 講道館新館7階大道場

内容：日本人選手との合宿

ウクライナ フェンシング

日程・場所：12月6日～12月8日 群馬県高崎市高崎アリーナ

内容：2024高円宮杯フェンシングワールドカップ大会への出場

（12月6日・7日：個人戦／12月8日：団体戦）

■パラリンピック競技（委託先：学校法人日本体育大学）

パレスチナ選手団の招へい・支援

競技種目	招へい者	事業内容	選手団滞在日程	実施場所	連携団体
陸上競技・卓球	陸上選手 1名(強化選手) 卓球選手 1名(強化選手) コーチ・スタッフ 4名	トレーニング・ワークショップ、学校訪問及び交流、知事・市長表敬訪問等	2024/10/10～10/17	愛知県 関東地区	(公財) 日本パラリンピック委員会

※アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）の機運醸成に資する交流活動、選手・コーチ、パレスチナパラリンピック委員会役員の技術/知識向上を目的としたトレーニングキャンプやワークショップ等を実施予定

アフガニスタン選手団の招へい・支援

競技種目	招へい者	事業内容	選手団滞在日程	実施場所	連携団体
陸上競技・テコンドー	調整中	トレーニング等	2024/11（予定）	調整中	(公財) 日本パラリンピック委員会

<取材可能事業> ※10月4日時点の予定であり今後変更・追加となる可能性があります。

パレスチナ 陸上・卓球

日程：10月11日（金）

内容・場所：学校訪問及び児童生徒との交流（愛知県内の学校）

愛知県知事表敬訪問（愛知県公館）、名古屋市長表敬訪問（名古屋市役所）

取材問合せ先：愛知県スポーツ局競技・施設課（向坂）電話 052-954-7472

日程・場所：10月12日（土）イオンモール熱田

内容：アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）2年前イベントへの参加

取材の問合せ先：公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

広報メディア課（金井塚・加藤）

電話 052-746-9465 / Email ainagoc-kohomedia@aichi-nagoya2026.org

日程・場所：10月13日（日）～17日（木）日本体育大学 横浜・健志台キャンパス

内容：トレーニング、コーチング講習等

2. 取材の問合せ先

取材をご希望される方は、以下の問合せ先にご連絡ください。

※上記<取材可能事業>に別途「取材の問合せ先」が記載されている場合はそちらを優先ください。

■オリンピック競技の支援に関して

公益財団法人日本オリンピック委員会 国際部 副部長：永島 真由美 / 国際部：豊田 有実

電話：03-6910-5956 / Email: m-nagashima@joc.or.jp / y-toyota@joc.or.jp

■パラリンピック競技の支援に関して

日本体育大学 広報課 電話：03-5706-0948 / FAX：03-5706-0922

・URL: <https://www.nittai.ac.jp/contact.html> 「取材を希望される方へ」参照

・取材をご希望される方は、取材申込み確認事項を明記した**取材申込書**（または企画書）を、原則 FAX にてお送りください。お急ぎの場合は、まず電話でご一報ください。

3. 令和5年度 支援の様子（一部）

■パラリンピック競技 トライアスロン ウクライナ選手団への支援

日程・場所：2024年2月24日（土）～3月5日（火）沖縄県・本部町

参加選手・合同トレーニング関連スタッフ：

- ・ウクライナ 4名（選手2名、ガイド1名、コーチ1名）
- ・日本 9名（選手2名、トレーニングガイド2名、スタッフ5名）

合同合宿の様子



学校訪問の様子



参加した選手の声



ウクライナ選手

- ・本国にいれば家族がいますが、練習ができません。本国を離れば練習はできますが、家族と離れていることが心理的ストレスになっています。
- ・この状況を打破して、平和な世界をつくっていくことが大きな願いです。
- ・日本での練習機会が得られたことは、まるで誕生日プレゼントのようです。

- ・会う前はどのように接すればよいのだろうと思っていましたが、普通に話し、普通に練習し、必要以上に気を遣うことはありませんでした。遠い異国の地で懸命に練習をしているウクライナ選手からは刺激をもらっています。
- ・ウクライナの状況はニュースなどで知っていましたが、こうして一緒に練習し、自分たちがいかに恵まれている環境であったかに気付くことができました。



日本選手

4. Sport for Tomorrow とは

スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）は、スポーツを通じた国際交流・協力を通じて、開発途上国をはじめとする世界のあらゆる世代の人々にスポーツの価値やオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げることがめざした取組です。2014年から2021年の8年間、官民連携のコンソーシアムを形成して活動を行い、204か国・地域における1300万人を超える人々とスポーツの価値を分かち合うことができました。

SFTは、東京2020大会のスポーツ・レガシーを継承・発展させながら、これまでの取組を通じて認識された国内外のスポーツや社会におけるニーズや課題に向き合い、官民連携によるスポーツを通じた国際交流・協力をさらに推進していきます。

参考資料1：スポーツ庁・国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業 概要

参考資料2：令和5年度国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業 実績

<担当> スポーツ庁参事官（国際担当）

参事官 柿澤 雄二（内線3491）

専門職 田村 謙治（内線2648）

国際交流担当 松尾 安優子（内線3949）

電話：03-6734-3949, 03-6734-3940（直通）

Email: skokusai@mext.go.jp

【参考資料1】

Sport for Tomorrow (スポーツ・フォー・トゥモロー) 国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業の概要

1 事業概要

紛争等国内の情勢により、自国内で十分な練習環境が確保できない海外アスリート等に対して日本及び近隣のアジア地域で競技大会への出場等を目的として日本国内で行う合宿やトレーニング等の支援に取り組む団体に、活動費用の支援や情報提供を含む必要な支援を行う。令和5年度から実施。

2 対象となる取組

ア 想定される経費

- ・日本への渡航費、日本国内の合宿費用、練習会場使用料
- ・受入団体・自治体等との交流に要する経費 等

イ 総事業予算（令和6年度）

約4,400万円

ウ 対象となる活動

次のいずれかの要件を満たすこと。

- ・日本オリンピック委員会または日本パラリンピック委員会加盟競技の国際競技連盟が主催又は公認等する大会への出場。
- ・日本オリンピック委員会または日本パラリンピック委員会加盟競技団体が主催、共催又は主管等する大会への出場。
- ・観客数10,000人以上または参加国数10か国以上が見込まれる大会への出場。
- ・相手国政府等からの書面での依頼が確認できるなど、スポーツ国際協力を通じて本邦のプレゼンス向上に資すると認められる活動であること。

【参考資料2】

令和5年度国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業 実績

1 事業概要

(1) オリンピック競技

支援対象国	競技種目	招へい者		合宿日程	連携団体
ウクライナ	柔道	22名		2023/9/18～10/7	(公財)全日本柔道連盟
ウクライナ	フェンシング (2事業)	男子フルーレ	7名	2023/12/1～12/6	(公社)日本フェンシング協会
		男女エペ	9名	2023/12/16～12/25	
ウクライナ	新体操	30名		2024/1/17～2/14	(公財)日本体操協会

(2) パラリンピック競技

支援対象国	競技種目	招へい者	滞在日程	連携団体
ウクライナ	トライアスロン	4名	2024/2/24～3/5	(公財)日本トライアスロン連合
ウクライナ	バドミントン	5名	2023/10/28～11/13	(一社)日本パラバドミントン連盟

2 事業成果

(1) オリンピック競技

- ・フェンシング競技において招へいした選手が2023年12月に行われた2023高円宮杯フェンシングワールドカップ大会(愛知県)に参加した。また、新体操競技において招へいした選手がパリ2024オリンピック競技大会に出場した。
- ・本事業に参加した各国選手団へのアンケートでは、全体満足度は非常に高く、「満足」(5段階評価の一番上)が100%となった。また、「日本を第二のホーム」として特別視するなど、スポーツを通じた日本への好感度や信頼度の向上につながった。

(2) パラリンピック競技

- ・バドミントン競技において招へいした選手が、2023年11月に行われたパラバドミントン国際大会に出場するとともに、パリ2024パラリンピック競技大会に出場した。また、トライアスロン競技において招へいした選手が、2024年5月に行われたワールドトライアスロンパラシリーズに出場するとともに、パリ2024パラリンピック競技大会に出場した。
- ・各取組が、全国紙、地方紙、ネットニュース等、多数のメディアに取り上げられた。これにより、本事業を通じたスポーツの価値や社会的価値を広く発信することにつながった。